

# 付録

【1 図書館基本情報】

地方公共団体コード(半角)	都道府県名
自治体名	市町村名
図書館名	記入者(職・氏名)
電話番号	メールアドレス

※自治体において図書館を複数設置している場合も、自治体の全ての館の内容をまとめて、1つの調査票で  
お答えください。数値については、自治体内の中心館・分館等の各館の数値の合計値を記入してください。サ  
ービスや施設数等は、自治体の図書館で一つでも行っている場合は○としてください。  
\*統計数値は、特に断りのない限り、令和2年度末(2021年3月31日)時点の状況をお答えください。

貴自治体に関する基本情報

【問1】 貴自治体について、お答えください。

(1) 自治体区分を選挙肢からお答えください。

《選挙肢》

- 1 都道府県
- 2 政令指定都市
- 3 市
- 4 町村
- 5 特別区

回答
----

(2) 人口規模について、選挙肢からお答えください。

《選挙肢》

- 1 1万5千人未満
- 2 1万5千人以上～5万人未満
- 3 5万人以上～10万人未満
- 4 10万人以上～20万人未満
- 5 20万人以上～30万人未満
- 6 30万人以上～50万人未満
- 7 50万人以上～100万人未満
- 8 100万人以上～150万人未満
- 9 150万人以上～200万人未満
- 10 200万人以上～500万人未満
- 11 500万人以上

回答
----

(3) 貴自治体が運営している公立図書館数をお答えください。(都道府県の場合は、都道府県立図書館数となります。)

図書館数	館
------	---

【問2】 貴自治体の図書館の運営主体についてお答えください。なお、選挙肢2～5の「中心」とは、概ね半数以上の場合とします。

《選挙肢》

- 1 全館直営
- 2 直営中心(一部委託)
- 3 直営中心(一部指定管理)
- 4 指定管理者中心
- 5 PFI事業者中心
- 6 その他 →備考欄にお書きください。

回答
----

備考
----

【問3】 貴自治体図書館の全職員数について、お答えください。なお、職員に図書館協力者やボランティアは含みません。これ以  
降の質問も同様です。

職員数(1) (2) (3) (4) (5) 合計	1 正規職員	2 非常勤・嘱託職員	3 臨時職員	4 (委託・派遣 指定管理者職員含む)	5 その他
	①同一自治体の全図書館(合計) ※	②上記①のうち、可書有資格者			

《留意事項》

※ 同一自治体の図書館(【問1】(3)で回答した公立図書館数)、全館の職員数についてお答えください。

【問4】 貴自治体図書館の障害者サービスの体制についてお答えください。

(1) 専ら障害者サービスのみを担当する課や係などがありますか。

《選択肢》

- 1 ある
- 2 ない

回答
----

(2) 障害者サービスを担当する全職員数について、お答えください。事務分掌や業務分担等で、障害者サービスの担当とされ  
ている職員数をお答えください。

職員数(1) (2) (3) 合計	1 専任 派遣正任 指 定非 常勤 管理 理職 員	2 兼 任正任 指 定非 常勤 管理 理職 員	3 臨時職員・その他
	①同一自治体の全図書館(合計) ※	②上記①のうち、可書有資格者	

《留意事項》

※ 同一自治体の図書館(【問1】(3)で回答した公立図書館数)、全館の職員数についてお答えください。

(3) 障害者サービスに関する要綱・要領・規則などがありますか。全般的な規則類の中に障害者サービスについての条項があ  
る場合も含みます。

《選択肢》

- 1 ある
- 2 ない

回答
----

(4) 令和2年度当初の障害者サービス予算をお書きください。数値は概数でも構いません。

金額
----

円

(5) 障害のある職員がいますか。いる場合は、既に貴自治体で把握している範囲で人数をお答えください。また、可能な範囲で障害別の人数も教えてください。従事している業務や、雇用形態は問いません。重複障害のある職員は内訳ではそれぞれに計上し、総数は実数としてください。「その他」の場合、障害の具体的な内容と人数をお答えください。  
※本調査の報告などで、図書館名と合わせて障害のある職員の人数が出ることは一切ありません。

《選択肢》

- 1 いる
- 2 いるが人数は分からない
- 3 明らかでない
- 4 いない

上記の選択肢で1を選択した場合は、人数をお書きください。また、回答可能な場合は障害別の人数をお書きください。

	障害のある職員の人数
↑	

障害別の人数	単位：人
1 視覚障害者	
2 聴覚障害者	
3 肢体不自由者	
4 内部障害者	
5 知的障害者	
6 発達障害者	
7 精神障害者	
8 その他 ⇒備考欄に障害の具体的な内容をお書きください。	

備考	
----	--

(6) 障害者に対するサービス全数や、その担当・係名に「障害者サービス」などの特定の名称をつけていますか。つけている場合は、その名称をお答えください。

《選択肢》

- 1 特定の名称をつけている ⇒備考に名称をお書きください。
- 2 特定の名称はつけていない

備考	
----	--

※ 色のセルは未回答の可能性があります。再度ご確認ください。  
一【図書館基本情報】は終了です。引き続き、【蔵書・資料製作】調査にお進みください。一

【蔵書・資料製作についてお尋ねします。】

■蔵書・資料製作についてお尋ねします。

【問1】下記の資料のそれぞれについて、令和2年度末時点の所蔵数と、製作している場合は製作総数、令和2年度の製作数をタイトル数で記入してください。数値は概数でも構いません。タイトル数が不明で巻点数のみわかる場合は、タイトル数に換算してください。製作を行っていない場合は「×」を、製作しているが2年度の製作がなかった場合は「0」を、製作しているがタイトル数が不明な場合は「不明」としてください。製作の対象となる資料は、原本のあるもので蔵書として受け入れられて貸出に供するものに限ります。自治体広報の点字版の寄贈受け入れなどは製作に該当しません。

資料種別	全所蔵数	自館製作総数	新規製作数 (令和2年度)
1 点字資料・点訳絵本（冊子）			
2 点字データ			
3 点字つき絵本 (絵本に点字のついたもの。図書館が点字シールを貼ったものや、さわる絵本のうち、点字つきのものもこちらに含める。)			
4 カセットテープ（障害者向け）			
5 音声デザイナー			
6 その他の障害者向け録音資料			
7 マルチメディアデザイナー			
8 テキストデザイナー			
9 テキストデータ			
10 大活字本（市販）			
11 拡大写本（製作したもの）			
12 ILブック			
13 布の絵本			
14 さわる絵本 (点字つきを除く。点字つきさわる絵本は「点字つき絵本」に含める。)			
15 その他のバリアフリー絵本 (音がでる絵本、手話絵本など)			
16 聴覚障害者用字幕・手話入り映像資料			
17 バリアフリーDVD			
18 電子書籍 (EPUB等のアクセシブルなコンテンツに限る)			
19 その他 ⇒備考欄にお書きください。			

備考	
----	--

(注)「タイトル数」とは、原本となる書籍等の数です。  
※例えば、1冊の本がカセットテープ5巻となった場合、「タイトル数」は1となります。  
※逐次刊行物の場合、「タイトル数」は、2016年4月号と5月号を製作した場合は2というように、号数で数えます。  
※タイトル数が分からない場合の目安として、カセットテープ5巻を1タイトル、点字3分冊を1タイトルとしてください。

【問2】 ディジー等の同からの障害者サービス用資料を製作していますか。

《選択肢》

- 1 製作している
- 2 製作していない ⇒「Ⅲ サービス」にお進みください。

【問3】 資料製作を行っている館にお尋ねします。製作は誰が行っていますか。それぞれの資料について、あてはまるもの全てに人数を記入してください。該当がないものは空欄で構いません。(複数回答可)

資料種別	職員	図書館協力者 (注1)	個人ボランティア		ボランティアグループ (注2)		業者委託 (注3)	その他
			無償 が支給	交通費の が支給	無償	交通費の が支給		
1 点訳								
2 音訳								
3 ディジーの編集								
4 テキストデータ化								
5 拡大写本製作								
6 布の絵本製作								
7 さわる絵本製作								
8 字幕・手話入り映像資料製作								
9 その他 ⇒備考欄にお書きください。								

備考

- (注1) 「図書館協力者」とは、資料製作や対面朗読を行う人で、その活動に謝金等の支払いがされている人のことをいいます。交通費のみ支給している場合は、ボランティアに含めてお答えください。  
 (注2) 製作をボランティア個人ではなく、ボランティアグループに依頼している場合はこちらを選んでください。  
 (注3) 「業者委託」とは、資料製作の作業について委託契約を結んでいる場合の委託を指します。  
 ※例えばカウンター業務委託や指定管理者制度等の一部として委託されている業者の職員が行う場合は、ここでは「職員」に含めてお答えください。

※ **色のセルは未回答の可能性があり、再度ご確認ください。**  
**一【Ⅱ蔵書・資料製作】は終了です。引き続き、【Ⅲサービス調査】にお進みください。**

【Ⅲ サービス】

■サービスについてお尋ねします。

【問1】 郵送貸出サービスに関連して発受施設の指定等を受けていますか。(複数回答可)

《選択肢》

- 1 特定録音物等郵便物の発受施設指定を受けている
- 2 心身障害者用ゆうメールの利用品を出している
- 3 聴覚障害者用ゆうパックの発受施設指定を受けている
- 4 いずれも該当なし

回答 (複数回答可)			
------------	--	--	--

【問2】 サビエ図書館または国立国会図書館視覚障害者等データ送信サービス会員登録をしていますか。選択肢からお答えください。(複数回答可)

《選択肢》

- 1 サビエ図書館の施設会員になっている
- 2 国立国会図書館視覚障害者等データ送信サービスに登録している
- 3 いずれも該当なし

回答 (複数回答可)		
------------	--	--

【問3】 障害者サービスの利用登録について、お答えください。

(1) 障害者サービスやその資料を利用するための利用登録を行っていますか。

《選択肢》

- 1 行っている
- 2 行っていない ⇒【問4】にお進みください。

回答	
----	--

(2) 障害者サービスの昨年度(令和2年度)の新規登録者数と総登録者数をお書きください。また、その内視覚障害者の数を教えてください。

新規登録者数		人	内視覚障害者数		人
総登録者数		人	内視覚障害者数		人

(3) 障害者サービスの利用登録ができるのはどのような人ですか。選択肢からお答えください。(複数回答可)

《選択肢》

- 1 視覚障害者のみ(障害者手帳を有するもの)
- 2 視覚障害者のみ(障害者手帳の有無は問わない)
- 3 視覚障害者等、視覚による表現の認識が困難な者(著作権法第37条第3項や読書バリアフリー法でいう視覚障害者等)
- 4 上記3に含まれない図書館利用に何らかの障害のある者
- 5 その他 ⇒備考欄にお書きください。

回答 (複数回答可)			
------------	--	--	--

備考

【問4】 各サービスの実施体制と利用状況について、お答えください。

(1) 以下の障害者サービスについて、実施体制、令和2年度の実績の有無をお答えください。ある場合は○、ない場合は×を選択してください。また、コロナ禍でサービスを休止して利用がなかった場合は○、そうでない場合は×を選択してください。

サービス内容	実施体制の有無	令和2年度の実績の有無	コロナ禍でサービスを休止して利用がなかった
1 対面朗読サービス			
2 点字・録音資料の郵送貸出			
3 一般資料の郵送貸出			
4 職員等による宅配サービス			
5 施設(障害者・高齢者施設等)入所者へのサービス			
6 入院患者へのサービス			
7 受刑者等の矯正施設へのサービス			
8 特別支援学校・学級等へのサービス			

(2) 製作した資料のデータを国立国会図書館の視覚障害者専用データ送信サービスにデータを提供して配信していますか。

《選択肢》

1 行っている	回答
2 行っていない	
3 製作していない	

【問5】 対面朗読の実績について、お答えください。未実施の場合は、【問6】にお進みください。

(1) 令和2年度の利用者数(延べではなく実利用者数)と利用実績(総時間数)をお書きください。実施体制はあるが利用がなかった場合は「0」としてください。

1 利用者数(実利用者数)	人
2 利用実績(総時間数)	時間

(2) 対面朗読を行う人は誰ですか、それぞれについて、あてはまるもの全てに人数を記入してください。該当がないものは空欄でけっこうです。(複数回答可)

1 職員	人
2 音訳者、図書館協力者(有償)	人
3 音訳ボランティア(無償)	人
4 その他 ⇒備考欄にお書きください。	人

備考

(注) 「図書館協力者」とは、資料製作者や対面朗読を行う人で、その活動に謝金等の支払いがされている人のことをいいます。交通費のみ支給している場合は、「音訳ボランティア(無償)」に含まれてください。

(3) 対面朗読の利用時間に制限がありますか、選択肢からお答えください。

《選択肢》

1 音訳者が常駐している開館時間中はいづれでも利用できる	回答
2 予約制で開館中は何時間でも利用できる	
3 予約制で回数や時間に制限がある	

(4) コロナ禍で対面朗読を実施するために行なった工夫や、代替手段として新しく始めたサービスがあれば選択肢からお答えください。館内で実施した場合は、マスク・換気、手の消毒等の基本的な感染防止を行っているものと考えます。(複数回答可)

《選択肢》

1 広い部屋や従来とは異なる部屋などで距離を取って実施した	回答 (複数回答可)
2 希望に応じてオンラインで実施した(Zoom、Skype等)	
3 利用できる回数や時間に制限を設けて実施した	
4 対面朗読で読みたいものをプライベートで製作(蔵書として残さない)して、郵送などで届けた	
5 基本的な感染防止を図りながら、通常通りに実施した	
6 対面朗読は中止した	
7 その他 ⇒備考欄にお書きください。	

備考

【問6】 障害者サービス用資料の資料別利用数について、年間利用実績をタイトル数でお書きください。個人貸出数は、相互貸借やダウンロードで借りたいものを貸し出す場合を含みます。相互貸借貸出数は、他の図書館や点字図書館に貸し出した数です。国会図書館からの配信を行っている館には、国会図書館から年2回、利用状況通知が送付されています。提供しているが実績がない場合は「0」、提供しているが数値が分からないものは「不明」、提供していないものは「×」を選択してください。

資料種別	個人貸出数	相互貸借貸出数	国会図書館からの配信数
1 点字資料・点訳絵本(冊子)			
2 点字データ			
3 点字つき絵本 (絵本に点字のついたもの、図書館が点字シールを貼ったものや、さわる絵本のうち、点字つきのものもこちらに含める。)			
4 カセットテープ(障害者向け)			
5 音声デザイナー			
6 その他の障害者向け録音資料			
7 マルチメディアデザイナー			
8 テキストデザイナー			
9 テキストデータ			
10 大話字本(市販)			
11 拡大写本(制作したもの)			
12 LLブック			
13 布の絵本			
14 さわる絵本 (点字つきを除く、点字つきさわる絵本は「点字つき絵本」に含まれる。)			
15 その他のバリアフリー絵本 (音がでる絵本、手話絵本など)			
16 聴覚障害者用字幕・手話入り映像資料			
17 バリアフリーDVD			
18 電子書籍 (HP、PUB等のアクセシブルなコンテンツに限る)			
19 その他 ⇒備考欄にお書きください。			

備考

(注)「タイトル数」とは、原本となる書籍等の数です。  
 ※例えば、1冊の本がセットテープ5巻となった場合、「タイトル数」は1となります。  
 ※※複数刊行物の場合、「タイトル数」は、2016年4月号と5月号を貸し出した場合は2というように、号数で数えます。

【問7】 来館困難者に対する宅配サービスの実績について、お答えください。未実施の場合は、【問8】にお進みください。  
 (1) 宅配の利用者数(延べではなく実利用者数)、宅配回数、総貸出タイトル数をお書きください。貸出タイトル数が正確に分からない場合は概数でけっこうです。実績のない場合は「0」、不明な場合は「不明」としてください。

1 宅配の利用者数(実利用者数)	人
2 令和2年度の宅配回数	回
3 総貸出タイトル数	タイトル

【問7】 宅配を行う人は誰ですか。宅配便業者による宅配は問8の郵送貸出に該当します。(複数回答可)

回答 (複数回答可)			
------------	--	--	--

- 《選択肢》
- 職員
  - ボランティア
  - 高齢者事業団等に委託
  - その他 →備考欄にお書きください。

備考
----

【問8】 障害者等への郵送貸出の実績について、お答えください。未実施の場合は、【問9】にお進みください。

- (1) 令和2年度の点字・録音資料、一般資料の郵送貸出の利用者数(延べではなく実利用者数)と、年間貸出数をお書きください。数値は概数でも構いません。

資料種別	利用者数 (実利用者数)	年間貸出数 (タイトル)
1 点字・録音資料などの障害者向け資料		
2 一般資料(障害者向けでない資料)		

(2) 郵送貸出で経費がかかるような場合、その費用は誰が負担していますか。サービスによって扱いが異なる場合は、最も一般的な方法をお答えください。

《選択肢》

回答
----

- 往復とも図書館が料金を負担している
- 片道分の料金を図書館が負担している
- 往復とも利用者が料金を負担している
- 経費がかかる場合は、実施していない

【問9】 入院患者、施設入所者、受刑者等へのサービスの実績について、サービスを行っている施設の数と年間回数を教えてください。実施しない場合は「0」、不明な場合は「不明」、サービスを実施していただければ空欄とさせていただきます。なお、施設等入所者個人に郵送等で貸し出すのはこちらに含まれません。すべて未実施の場合は、【問10】にお進みください。

施設種別	サービスを行っている施設数	年間回数
1 病院		
2 高齢者入所施設・高齢者通所施設		
3 児童入所施設・児童通所施設		
4 刑務所等矯正施設		
5 特別支援学校・学級		

【問10】 特別支援学校、特別支援学級との連携で実施していることがありましたら、選択肢からお答えください。(複数回答可)

《選択肢》

回答 (複数回答可)			
------------	--	--	--

- 出張おはなし会等の実施
- 資料の団体貸出
- 資料目録・利用案内その他刊行物の送付
- 教員向けの研修会や障害者サービス用資料の展示会等への協力
- 学校図書館の運営相談や選書の相談
- その他 →備考欄にお書きください。

備考
----

【問11】 問1から10以外のサービス等について、お答えください。

- (1) 以下のサービス等について、実施している場合は○、実施していない場合は×を選択してください。また、コロナ禍でサービスを休止して実施しなかった場合は○、そうでない場合は×を選択してください。

1 イベント関係  
実施している場合は、令和2年度の年間実績をお書きください。

イベント名称	実施の有無 (○・×)	年間回数 (回)	コロナ禍で実施しなかった場合 (○・×)
1 手話によるお話し会			
2 バリアフリー映画会			
3 (1、2以外の)障害者向けイベント			
4 高齢者向けイベント			
5 外国人向けイベント			
6 イベントにおける要訳筆記、手話通訳			

2 資料コーナー

コーナー名称	設置の有無 (○・×)
1 りんごの棚の設置	
2 大活字本コーナーの設置	
3 高齢者のための資料コーナーの設置	
4 外国語の資料コーナーの設置	
5 1～4以外の障害者サービス用資料コーナーの設置	

(2) 民間電子書籍サービスを導入していますか。導入している場合、障害者のアクセシビリティについて考慮していますか。

《選択肢》

回答
----

- 導入しており、障害者のアクセシビリティについて考慮している
- 導入しているが、障害者のアクセシビリティが考慮されたものではない
- 障害者のアクセシビリティを考慮したが、導入できなかった
- 導入していない

(3) 再生機器の貸出、利用支援等を行っていますか。実施している場合は○、実施していない場合は×を選択してください。

サービス内容	実施の有無 (○・×)
1 デジタル再生機・タブレット等の貸出	
2 デジタル再生機等の操作支援	
3 障害者用ICT機器に関する利用支援・情報提供	

【問12】 図書館協力者・ボランティアの養成講座や研修会を行っている場合は、対象・内容・回数等を以下の例のようにお答えください。

対象	内容	回数	頻度
例 音訳者	研修会	1回(3日間)	月1回

※ 色のセルは未回答の可能性がありますが、再度ご確認ください。  
—【Ⅲサービス】は終了です。引き続き、【Ⅳ施設・設備】調査にお答えください。—

【Ⅳ 施設・設備】

■施設・設備についてお尋ねします。

【問1】 貴館に設置されている設備について、お答えください。設置している場合は○、設置していない場合は×、設置の必要がない場合は-を選択してください。

1 バリアフリートイレ	
2 オムツ交換台	
3 段差があるところのスロープ	
4 障害者用駐車場	
5 障害者に配慮した(車椅子用ボタン、鏡、点字表示、音声など)エレベーター	
6 貸出用の車椅子	
7 館内の点字ブロック	
8 対面朗読室・録音室	
9 障害者用閲覧室	
10 緊急時点滅ランプ・モニター(聴覚障害者のための警報装置)	
11 誘導チャイム(聴覚障害者へ入口を案内するもの)	
12 ヒアリングループ(磁器誘導ループ)	
13 車椅子利用者に配慮した閲覧席(高さ調節のできる閲覧机を含む)	
14 車椅子利用者に配慮したカウンター	
15 触知案内板・点字案内板	
16 音声案内	
17 ビクトグラムやイラスト等を用いた案内表示・サイン	
18 手すり等の点字表示	
19 その他 →備考欄にお書きください。	

備考	
----	--

【問2】 貴館で所有している障害者サービス用の機器・補助具について、選択肢からお答えください。所有している場合は○、所有していない場合は×を選択してください。

1	拡大鏡、老眼鏡	
2	リーディングトラッカー、リーディングルーペ	
3	筆談ボード	
4	コミュニケーションボード	
5	レスズライター	
6	立体コピー機	
7	拡大読書器	
8	書見台	
9	自動ページめくり機	
10	音声ディジー再生機	
11	マルチメディアディジーを再生するためのタブレット・パソコン	
12	音声読書機	
13	読み上げソフトがインストールされたパソコン	
14	点字ペンディスプレイ	
15	点訳ソフト	
16	点字プリンター	
17	音声ディジー編集ソフト	
18	マルチメディアディジー編集ソフト	
19	デジタル録音機	
20	録音資料製作用パソコン、オーディオインターフェイス	
21	CDコピー機	
22	点字ラブラー	
23	その他 ⇒備考欄に機器名と用途をお書きください。	

備考	
----	--

【問3】 貴館のサイト(ホームページ)で障害者に配慮していることについて、選択肢からお答えください。(複数回答可)  
※図書館のサイトがない場合は、「該当しない」を選択してください。図書館で独立したサイトがなく、自治体のサイト内  
で図書館が紹介されている場合も、「該当しない」を選択してください。

回答 (複数回答可)				
------------	--	--	--	--

- 《選択肢》
- 1 図書館のサイト内に障害者サービスの独立したページがある
  - 2 図書館のサイト作成にあたり、「JIS X 8341-3:2016 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部:ウェブコンテンツ」に従っている
  - 3 独自のアクセシビリティ基準を設けて運用している
  - 4 図書館のサイト内に掲載している画像や地図等のデータに代替テキストをつけている
  - 5 図書館のサイトの色の組み合わせに留意している
  - 6 音声読み上げボタンを付けている
  - 7 該当しない

【 V その他 】  
■その他についてお尋ねします。

【問1】 障害者サービスに関する広報を実施していますか。実施しているものを選択肢からお答えください。(複数回答可)

《選択肢》					
1	図書館のウェブサイト				
2	図書館公式のツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラム等のSNS				
3	ポスター・ちらし・パンフレット				
4	障害者サービス利用案内				
5	図書館だより等への定期的な掲載				
6	眼科医やロービジョンケアと連携してPRを行っている				
7	その他 ⇒備考欄にお書きください。				

備考	
----	--

【問2】 障害者サービスに関する職員研修について、選択肢からお答えください。(複数回答可)

《選択肢》				
1	研修を自館で実施			
2	都道府県立図書館・図書館協会・国等が開催する研修を受講			
3	点字図書館または障害者福祉団体等が開催する研修を受講			
4	研修受講の実績なし			

頻度	回/年
1	回/年
2	回/年
3	回/年

上記の選択肢で1～3を選択した場合は、頻度をお書きください。

【問3】 【問2】で4と回答した自治体は、その理由を選択肢からお答えください。(複数回答可)

《選択肢》				
1	受講できる適切な研修会がなかったため			
2	障害者サービスの担当者がいない等、受講する適任者がいないため			
3	業務多忙のため			
4	研修開催地が遠隔地のため			
5	オンライン受講のための通信環境や機器等の条件が整っていないため			
6	受講の必要性を感じないため			
7	その他 ⇒備考欄にお書きください。			

備考	
----	--

【問4】 点字図書館との連携について、選択肢からお答えください。(複数回答可)

《選択肢》				
1	障害者サービス用資料の相互貸借の実施			
2	資料制作の連携(制作依頼、原本の長期貸出、読みの調査等)			
3	合同資料目録の作成			
4	職員や音訳者等の合同研修、講師の派遣等			
5	その他 ⇒備考欄にお書きください。			
6	特になし			

備考	
----	--

【問5】 図書館協議会等(図書館法に拠らないもの、それに類似的な協議会を含む)に、障害のある委員がいますか。視覚障  
害や聴覚障害など、貴自治体で把握している範囲で回答ください。

《選択肢》				
1	いる			
2	いない			
3	わからない・不明			
4	該当する協議体が未設置			

※ 色のセルは未回答の可能性がありますが、再度ご確認ください。  
—【IV施設・設備】は終了です。引き続き、【Vその他】欄面にお進みください。—



【問6】 障害者サービスを進捗するための課題や問題点などがありましたら、お書きください。(自由記述)

回答

<市区町村立図書館向けの質問は以上です。以降の質問は、都道府県立図書館のみ回答してください>

【問7】 市区町村立図書館の障害者サービスへの支援業務について、実施しているものを選択肢からお答えください。(複数回答可)

《選択肢》

1 職員向け研修の実施	回答
2 支援者等の図書館協力者向け研修の実施	
3 職員を研修講師として派遣、講師の紹介	
4 製作資料の総合目録の作成、配布	
5 各種問い合わせや相談への対応	
6 市区町村立図書館からの依頼による資料製作	
7 その他 →備考欄にお書きください。	

備考

【問8】 圏域の図書館協会等の中に障害者サービスに関する委員会等がありますか。選択肢からお答えください。

《選択肢》

1 ある	回答
2 ない	
3 以前あったが今はない →理由を備考欄にお書きください。	
4 協会自体が未設置	

備考

【問9】 公立図書館等を対象とした障害者サービスに関する調査を実施していますか。該当するものを選択肢からお答えください。(複数回答可)

《選択肢》

1 過去に障害者サービス調査を実施したことがある	回答
2 定期的に障害者サービスに関する調査を実施している	
3 図書館全般の調査の中に障害者サービスの項目がある	
4 障害者サービスに関する調査は未実施	

上記の選択肢で1を選択した場合は実施時期、2～3を選択した場合は、頻度(●年毎、不定期等)をお書きください。
↑
1 実施時期
2 頻度
3 頻度

※ 色のセルは未回答の可能性があります。再度ご確認ください  
 —これで全調査終了です。ありがとうございました。—

「公立図書館における読書バリアフリー」実態調査結果データの公開について

この度は「公立図書館における読書バリアフリー」実態調査に御協力いただきまして、ありがとうございます。  
 今回の調査研究事業「公立図書館における読書バリアフリー」は、令和3・4年度の2年計画で行われます。  
 1年目の令和3年度は、今回御回答いただいた実態調査の集計結果を報告書にまとめる予定です。  
 2年目(令和4年度)には、今回の調査結果を分析し、結果を報告書にまとめる予定です。  
 各調査報告書は、都道府県立図書館、市区町村立図書館(本館)、都道府県教育委員会等に配布するとともに、全国公共図書館協議会ウェブサイトにも掲載されます。  
 なお、調査終了後は、皆様が調査結果を利用できるように、今回の実態調査のマスターデータ及び集計データを、全国公共図書館協議会ウェブサイトで公開する予定です。  
 ※公開するマスターデータは、個々の図書館が特定できないように加工を行います。  
 皆様の御理解・御協力をお願いいたします。